

令和6年度  
日本スポーツ振興センター  
組織基盤強化支援事業助成金事業報告

JFFID組織基盤強化支援事業  
「夢には、仲間がいる」

特定非営利活動法人日本知的障がい者サッカー連盟

# 事業名：JFFID組織基盤強化支援事業「夢には、仲間がいる」

## 事業実施の背景・課題、目標

### 背景・課題

- ・ スポンサー獲得に向けたマーケティング活動や、連盟の発展に向けた事務局としての活動が、人材とノウハウの不足により行えていない。
- ・ 競技の普及・発展に向け、都道府県加盟制度を用いており、地域の組織化促進・環境整備が行えていない。

### 目標

- ・ 専門的な外部人材の雇用により、中長期計画・理念に基づく計画的なアクション実施。業務のシステム化を伴う業務改善・ノウハウの取得。事務作業の効率化によりスムーズな運営・管理及び効果の最大化を図る。
- ・ 専門性の高い選任指導者の登用により、競技力の向上と、各地域のさらなる地域サッカー協会との連携・環境整備の促進。

## 本事業における具体的な取組内容

### 計画№1

#### 全体のマネジメント・およびマーケティング人材の登用

<実施期間>  
令和6年～令和8年

<取組内容>

- ・ 適切な人材確保（本事業のプロジェクトマネージャーおよびマーケティング人材の登用
- ・ 新規パートナー獲得

### 計画№2

#### 事務局長1名と事務局員1名の雇用

<実施期間>  
令和6年～令和8年

<取組内容>

- ・ PMと定例会を行いながら業務の役割分担、システム化をし複数人で把握できる環境を作る

### 計画№3

#### 業務改善・マーケティング効果向上のためのシステム構築

<実施期間>  
令和6年～令和8年

<取組内容>

- ・ HPリニューアルによる登録業務の簡易化、マーケティング効果の向上
- ・ 経理・労務業務のシステム構築

### 計画№4

#### 知的障がい者サッカー技術選任指導者（FIDコーチ）の登用

<実施期間>  
令和6年～令和8年

<取組内容>

- ・ JFFID強化指定選手増加
- ・ 加盟都道府県の増加

## 計画№1

### 全体のマネジメント・およびマーケティング人材の登用

#### ◆取組内容

- 適切な人材確保 本事業のプロジェクトマネージャーおよびマーケティング人材
- 新規パートナー獲得

本事業におけるプロジェクトマネジメント(PM)として、計画立案、スケジュール作成・管理、予算管理、人員管理、リスク管理、会議開催通知およびファシリテータ、対外的なやり取り等を担う人材を登用。マーケティング担当者は渉外担当として登用。

本事業終了後も連盟独自で継続して自立した運営ができるよう、スポンサー獲得を目指す。

#### ◆令和6年度の進捗・成果

- 全体マネジメント人材1名(0.4人月×1名) マーケティング人材2名(0.4人月×2名)を登用
- パートナー数の増減数:0件、新規獲得リード数:19社/24名
- 新たな収入源の確保に向けクラウドファンディングを活用  
※R7年1月20日時点で174,000円・21名の寄付(R7年1月末までに1回、3月に1回実施予定)
- パートナー獲得に向けた新規企画立案実施中。
- 障がい者サッカー全体のマーケティング効果向上、共生社会への一步を目的とし、JIFF(日本障がい者サッカー連盟)と共同でマーケティング活動を実施

#### ◆令和6年度に生じた課題と令和7年度の改善策

<課題>知的障害者・児に関する特性および理解に対するキャッチアップを丁寧に行ったため時間を要し、それぞれの活動地域担当者と企業の接点等に対しても慎重にヒアリングを行う運びとなった結果、当初計画していた営業戦略を予定通り実施にできず、遅れが生じた。

<改善策>R6年度内およびR7度に向けた営業計画を再計画し、計画にそったスケジュールで進行管理四半期ごとに行動目標とスケジュール管理を見直しPDCAを回していく。

## 計画№2

### 事務局長1名と事務局員1名の雇用

#### ◆取組内容

- PMと定例会を行いながら業務の役割分担、システム化をし複数人で把握できる環境を作る

組織運営として事務局担当者の雇用。団体の庶務全般を担当（会計、助成金申請、ガバナンス、外部との調整、広報、大会運営補助など）と、本事業におけるプロジェクトチームとしてPMと定例会を実施し団体の実情伝達や業務改善を図る。

#### ◆令和6年度の進捗・成果

- 事務局長1名と事務局員1名の事務局人員を新たに雇用
- 月例の定例会の他、各業務ごとの分科会を隔週1回程度実施
- Microsoft365を導入。オンライン上での共同編集や、オンラインミーティング、チャット等の活用により、複数名にて作業管理を行う環境が整う
- 他複数名での業務効率化システム選定を実施。（会計、経費、タスク管理ツール等）連盟内での浸透に課題がありMicrosoft365以外は検討段階

#### ◆令和6年度に生じた課題と令和7年度の改善策

<課題>複数人で把握ができる業務効率化ツールの導入に伴い、連盟全体に浸透・効率化するためには団体全体のITリテラシーの向上が課題。使いこなせるメンバーが少なく、一部メンバーのみが使用している状態となってしまった。

<改善策>全体的な業務改善に向けたシステム利用方法の連盟内講習会の実施、システム運用ルールの明確化と統一を図る。

## 計画№3

### 業務改善・マーケティング効果向上のためのシステム構築

#### ◆取組内容

- HPリニューアルによる登録業務の簡易化、マーケティング効果の向上
- 経理・労務業務のシステム構築

経理・労務業務のIT化及び人材雇用・運用に関するデータベースを構築する。出退勤管理・給与計算をシステム管理化、また外部専門家と連携をとり、適切な人事雇用の方法を取得する。HPをリニューアルし、HPから加盟登録申請・選手登録申請が行えるようにし、現在Excelシートでのメール提出というフローからシステム化を構築することで事務的負担を削減、また月額サポート会員システムを導入し、さらなるマーケティング効果向上を目指す。

#### ◆令和6年度の進捗・成果

- 経理・労務専門人材を1名登用（0.2人月×1名）
- HPリニューアル委託先（2社打ち合わせ）選定完了
- 登録システム委託先（3社打ち合わせ）選定完了

#### ◆令和6年度に生じた課題と令和7年度の改善策

<課題>当初予定の導入システムにて要件が合わず、他のシステムに変更。そのため、導入までのスケジュールが遅れてしまった。

<改善策>重要なシステム導入であり、連盟内周知をより丁寧に行うため、導入を遅らせる。そのうえで、地域・都道府県向けに説明会やマニュアルの配布、スムーズに移行できるような対応を行う。

## 計画№4

### 知的障がい者サッカー技術選任指導者（FIDコーチ）の登用

#### ◆取組内容

- JFFID強化指定選手増加
- 加盟都道府県の増加

技術委員会より専門性の高い技術委員長を選任指導者として登用し、競技力強化・環境整備を加速させる。1ヶ月に1回各地域巡回。技術力アップを目的とした選手への指導と指導者への指導、年2～3回の指導者ライセンス講習会を実施。また、巡回の際、組織化が進んでいない地域の現状ヒアリング・相談も受け、地域活性化プロジェクト候補地も探索する。各9地域サッカー協会47都道府県サッカー協会と各地域知的障がい者サッカー連盟との関係を構築する。

#### ◆令和6年度の進捗・成果

- JFFID強化指定選手増加 前年比61%増加  
R5：185名／R6:302名・・・12月までの実績から1～3月予測値 + 10名見込
- 巡回指導により地域ごとに選手レベルの向上と将来性のある選手を発掘。
- 加盟都道府県については変動なし。（R5：32都道府県／R6:32都道府県）
- 加盟都道府県においては定期的なコミュニケーションによりR7以降の新規加盟に向け前進  
R6:群馬県、埼玉県に加盟に向けたコンタクト、R7:群馬県、埼玉県準加盟検討中

#### ◆令和6年度に生じた課題と令和7年度の改善策

<課題> 都道府県連盟の増加に向け、未加盟地域担当者と連携するも、組織化や加盟手続きなどの負荷が高いため、加盟促進への課題となっている。

<改善策> 都道府県連盟の加盟促進に向け、団体設立や加盟に関連した資料の作成・整理を行い、地元担当者が分かりやすく、さらに負荷減らし、加盟の促進を行う予定。（フロー図やひな形等々の作成など）

## ◆令和7年度の取組内容

令和7年度は、令和6年度より継続して4つの取組を実施予定。

PM1名、マーケティング担当者2名、事務局長1名、事務局1名、経理・労務1名、選任技術指導員1名の体制にて定例会・分科会を通じ、各取組の進捗を確認しながら達成に向けた活動を行う。

### <計画・スケジュール>

- 毎月定例会を実施し、中長期計画達成率を確認。
- システムの利便性、マーケティング効果を確認・見直し、追加構築の必要性を検討
- 本年度より連盟HPを使用した登録業務のシステム化本格実装

第1四半期	<ul style="list-style-type: none"><li>• スポンサー集めに係るアポ取り・企業回り</li><li>• 登録業務簡易化に向けたシステム導入</li><li>• 巡回指導および都道府県連盟加盟促進活動</li></ul>
第2四半期	<ul style="list-style-type: none"><li>• スポンサー集めに係るアポ取り・企業回り (サッカー教室パッケージ中心に)</li><li>• 巡回指導および都道府県連盟加盟促進活動</li></ul>
第3四半期	<ul style="list-style-type: none"><li>• スポンサー集めに係るアポ取り・企業回り (特例子会社向けパッケージ中心に)</li><li>• 巡回指導および都道府県連盟加盟促進活動</li></ul>
第4四半期	<ul style="list-style-type: none"><li>• スポンサー集めに係るアポ取り・企業回り (大会協賛パッケージ中心に)</li><li>• 巡回指導および都道府県連盟加盟促進活動</li></ul>

# 令和6年度 事業報告書

【組織基盤強化支援事業助成】

団体名		特定非営利活動法人日本知的障がい者サッカー連盟
事業名		JFFID組織基盤強化支援事業 「夢には、仲間がいる」
事業の成果		<p>本事業名「夢には、仲間がいる」であり、事業開始時における最大の課題であった専門人材とノウハウの不足に対応し組織を支える仲間を獲得することができました。</p> <p>これにより、以下の業務において、複数名による分担体制が構築され、着実に進捗しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局業務：日常運営の効率化、複数名での把業務握を実現。</li> <li>・マーケティング業務：新たな収益源確保に向けたプロジェクトの実施。</li> <li>・地域連携：巡回指導や都道府県加盟促進の推進。</li> <li>・DX推進：システム導入により、登録業務の簡易化を実現に向けて遂行中。</li> </ul> <p>また、これまで担当者が不在で着手できなかった領域や、ノウハウが不足していた業務にも専門人材を配置することで、新たに対応可能な体制が整いました。さらに、次年度以降を見据えたプロジェクトも平行して進行中です。具体的には、パートナー企業向けの事業企画の立案を通じて、事業終了後も持続可能な組織運営を目指しています。</p>
課題		<p>本事業に関連した収益が増加していないことが課題と言えますが、本年度、マーケティング人材を登用し、パートナー企業向けの事業企画など、今後積極的な販売と収益の向上を目指す礎を築き、次年度以降、さらには中長期的に収益が増加していくための体制を整える事ができました。</p> <p>複数名で把握ができる業務効率化ツールの導入に伴い、連盟全体に浸透・効率化するためには団体全体のITリテラシーの向上も課題です。業務効率化ツールを使いこなせるメンバーが少なく、一部メンバーのみが使用している状態のため、ツール利用方法の連盟内講習会を実施し、連盟内のITリテラシー向上を目指します。</p>
事業に対する自己評価		<p>本取組により、連盟役員内でも「今が変わらなければいけない時」という意識改革が浸透し、VISIONの見直しや、地域でのセールス活動協力、未開発地域への働きかけなど、積極的な新たな動きに繋がっています。</p> <p>今後専門人材の稼働時間を要所のみ頼れるよう削減し、現在かかる専門人材の人件費を調整、連盟内人員でも業務が担えるようノウハウを取得し役割を少しずつ推移していく所存です。</p>
情報公開	事業の実施状況及び実施結果並びに助成金の使途に関する情報の公開	<p>情報の公開方法 (複数選択可)</p> <p><input type="checkbox"/> HPで公開</p> <p><input type="checkbox"/> 広報誌・会報誌等で公開</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 事務所等に備え、自由に閲覧できる環境を整備</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 情報開示請求があった場合に開示</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ( ) ※具体的な公開手段を記載してください。</p> <p>※上記いずれかの公開が必要です。</p>
	公表した内容 (複数選択可)	<p><input type="checkbox"/> 事業の実施状況(助成金の交付を受けている旨を記載し、事業の進捗、途中経過を公開)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 事業の実施結果(助成金の交付を受けた旨を記載し、事業の完了報告を公開)</p> <p><input type="checkbox"/> 助成金の使途に関する情報(助成金額(交付決定額)及び何に使用したのかを公開)</p> <p>※上記いずれかの公表が必要です。</p>
備考		